

化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : IRSB1
 レジメン名称 : IRIS+B(初回)

新規
 変更

提出日 : 2019 年 11 月 1 日
 承認日 : 2019 年 11 月 15 日

適応がん種 : 大腸
 インターバル日数 : 28日
 予定コース数 : PDまで

消化器内科 : 消化器センター部長 喜多 宏人
 消化器外科 : 医長 中田 博
 確認薬剤師 : 薬務主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1、15)
1		デキサート注(デキサメタゾンとして)	6.6mg	点滴静注	末梢メイン	30分	Rp1 30分 デキサート注6.6mg アロカリスバイアル235mg グラニセトロンバッグ3mg ↓ Rp2 90分 ベバシズマブ注射液 生理食塩液100mL ↓ Rp3 90分 イリノテカン注射液 5%ブドウ糖液250mL ↓ Rp4 5分 生理食塩液50mL ↓ Rp5 day(1)夕食後～day(15)朝食後 TS-1配合OD錠 1日2回内服
		アロカリスバイアル235mg	1V				
		グラニセトロンバッグ3mg	1本				
2*		ベバシズマブ点滴静注	5mg/kg	点滴静注	末梢メイン	90分	
		生理食塩液100mL	1本				
3*		イリノテカン点滴静注	100mg/m ²	点滴静注	末梢メイン	90分	
		5%ブドウ糖250mL	1本				
4		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分	
5*		TS-1配合OD錠	80mg/m ²	内服	経口		

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
2	ベバシズマブ点滴静注	5mg/kg	
3	イリノテカン点滴静注	100mg/m ²	
5	TS-1配合OD錠	80mg/m ²	120mg

<特記事項> 最終更新:2023年9月 アロカリス導入
 ①S-1(経口)はday1夕～day15朝まで内服(朝・夕食後)。その後14日間休薬。
 ②S-1投与量
 BSA <1.25m² 1.25-1.5m² 1.50m² ≤
 用量 80mg/day 100mg/day 120mg/day
 ③初回のためベバシズマブの点滴時間が90分となっている
 ④投与前にイリノテカンの代謝酵素であるUDP-グルクロン酸転移酵素の2つの遺伝子多型(UGT1A1*6、UGT1A1*28)の確認が推奨される